

自分の心と体を見つめ主体的に健康な生活を実践できる児童の育成 ～歯・口の健康づくりを通し、望ましい生活習慣の育成を目指して～

千葉県松戸市立八ヶ崎第二小学校

1 研究の目的

児童一人ひとりが自分の体を知り、進んで健康づくりに取り組めるようにするにはどうしたらよいか、日常の活動、学習指導、保護者・地域との連携を通して実践的に明らかにする。

2 研究仮説

- (1) 日常の歯みがき指導で、むし歯・歯周病予防に関する自分の課題に進んで取り組める方法を工夫するとともに、校内の保健環境を整備したり、児童会活動との連携を図った指導をしたらすれば、日常生活における歯と口の健康づくりに対する実践活動が身に付くであろう。
- (2) 学級活動等の授業で、むし歯・歯周病予防に関する自分の課題を進んで解決できるような学習過程を工夫するとともに、教師の支援を大事にした指導を行っていけば、知識が身に付き日常生活における歯と口の健康づくりに対する実践意欲が高まるだろう。
- (3) むし歯・歯周病予防に関する家庭生活における習慣形成を目指し、保護者・地域と連携していけば、日常生活における歯と口の健康づくりが定着していくであろう。

3 研究の内容

(1) 仮説1にもとづいた実践

- 学級活動における歯科保健指導及び健康教育目標の掲示（各教室）
- 歯みがきタイムの充実（給食後5分間）
- 歯みがきカレンダーの取組（年間3回）
- むし歯予防ポスター・標語の取組
- アンケート調査による実態調査
- カラーテスターの活用（家庭に年間2回実施）
- 放送、掲示物、保健ニュースでの啓発活動
- 保健集会などの保健委員会の活動
 - ・劇の発表
 - ・クイズラリー
 - ・歯みがき指導



<歯みがきタイム>



<保健集会>

(2) 仮説2にもとづいた授業実践

- 第1学年…学級活動「歯の王子様をみがこう」
- 第2学年…学級活動「歯のはたらき」
- 第3学年…総合的な学習の時間「健康な体をつくろう」
- 第4学年…体育科「育ちゆく体とわたしー歯の成長ー」
- 第5学年…学級活動「噛む」
- 第6学年…体育科「病気の予防（歯周病）」



<学校歯科医による歯周病の話>

(3) 仮説3にもとづいた実践

- 保健だより等での啓発
- アンケート調査による実態把握
- ホームページの活用
- 親子での食事作り
- 日大歯科衛生士による歯みがき指導
- 学校保健委員会「健康サミット」の実施



<歯科衛生士の指導>



<健康サミット>

(4) その他の実践

- 食育の実践
 - ・昨年度までの研究の継続
 - ・栄養士の教室訪問
 - ・給食試食会
 - など
- 体力向上の実践
 - ・縄跳びの取組及び発表会
 - ・マラソンの取組及びマラソン大会
 - ・部活動の奨励
 - など